



1月25日(土)は主婦休みの日 夫のほうが“腕がいい”家事は、掃除、片付け そのこだわり、もっと発揮して!

女性のための生活情報紙「リビング新聞」を発行する株式会社サンケイリビング新聞社(所在地:東京都千代田区、代表取締役社長 豊田 皓、以下弊社)は、読者の声から生まれた「主婦休みの日」の認知度アップに向けた取り組みを行っています。

2009年に日本記念日協会に申請、登録された「主婦休みの日」は、日ごろ家族のために家事をがんばる主婦・主夫がリフレッシュしたり、家事の大切さを家族で分かち合う日。

今回の主婦休みの日は正月の準備や帰省の疲れをリフレッシュしたいタイミングの1月25日。これに先立ち、夫の家事分担についてアンケートを実施しました。働く女性が増えるなかでも、普段から家事に参加する夫は約半数。さてその内容は・・・。

※主婦休みと夫の家事に関する調査は、リビング新聞公式サイト「リビングWeb」で、2014年12月に実施、既婚女性のみ集計 有効回答636)

◆夫が担当している家事の1位はゴミ出し、2位は洗い物。 夫が得意な家事は掃除や片付け。丁寧さや手早さが高評価

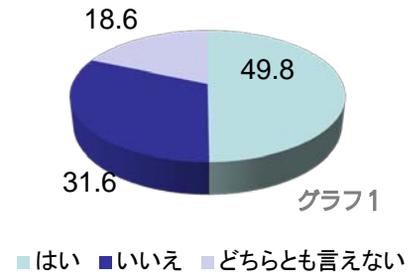
今回の調査で、「あなたの夫は普段から家事に参加していますか?」と聞いたところ、「はい」と答えた人は、全体の49.8%。〈グラフ1〉 その中から夫が担当の家事を複数回答で聞いたところ、最も多くの夫が担当している家事は「ゴミ出し」で61.4%、2位は洗い物(37.8%)、次いで掃除(36.4%)。〈グラフ2〉

また、「この家事については、あなたより夫のほうが得意と思うジャンル」を複数選択で聞いたところ、43.7%の人が「掃除」、38.2%の人が「片付け・整理整頓」と回答しました。〈グラフ3〉

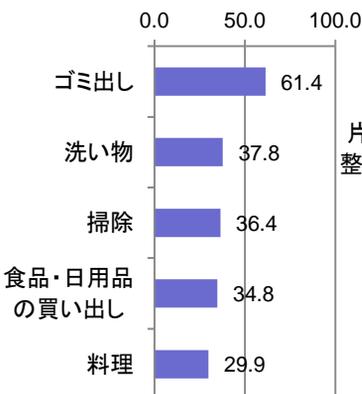
上記について、「どんな点が自分よりすぐれていると思うか」と聞いたところ、1位は「丁寧」(40.2%)、2位は「徹底的」(33.0%)、3位が「体力や体格が違う」(30.6%)でした。〈グラフ4〉

これを受けてか、「今はしていないが、本当は夫にしてほしい家事」の1位は、「部屋の片づけ・整理整頓」(32.7%)。3位には掃除(27.1%)が入りました。とくに片付けや掃除の場面で、その丁寧さや手早さをもっと発揮してほしい!と、妻たちは願っているのです。〈グラフ5〉

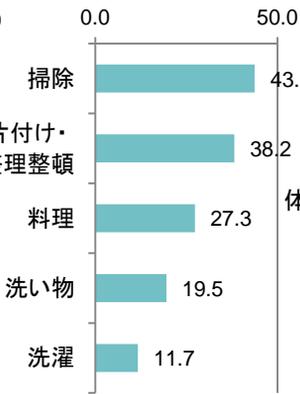
あなたの夫は普段から家事に参加していますか?(N=636)



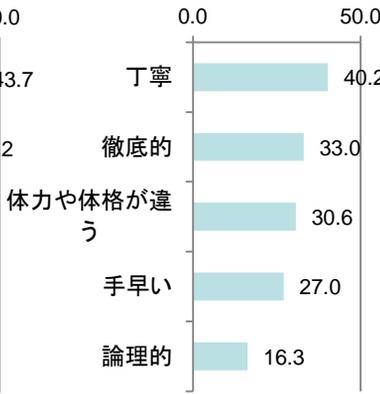
グラフ2
今、夫が担当している家事はなんですか?(複数回答)



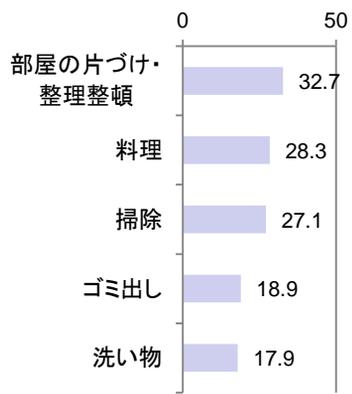
グラフ3
あなたより夫のほうが得意と思う家事は?(複数回答)



グラフ4
どんな点が自分より優れていると思いますか?(複数回答)



グラフ5
本当は夫にしてもらいたい家事は何ですか?(複数回答)



◆頼まなければよかった(泣)・・・夫の家事で大後悔！

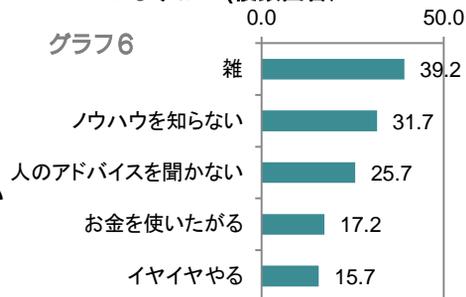
夫がした家事で、これはやってもらって失敗した！と後悔した経験のある人は、全体の54.0%と半数強。

その後悔ポイントの第1位は「雑」(39.2%)。次いで「ノウハウを知らない」(31.7%)、「人のアドバイスを聞かない」(25.7%)。〈グラフ6〉

ノウハウや理屈がわかれば上達しそうな家事もたくさんあると妻たちは考えていますが、いやいややったり、アドバイスを聞こうとしなかったりと、障壁は高い！

夫のどんな点が後悔につながったと思いますか？(複数回答)

グラフ6



夫の家事 妻の後悔エピソード

①買い物・料理・・・やりくりの苦労をわかってない！

- ◆買い物頼むとそれ以上のものを買ってきて高くつく(西宮市・49歳)
- ◆パスタを作ってもらいましたが高級な具材を買ってきたので外食の方が安くすんだし美味しかったと後悔した(倉敷市・46歳)
- ◆何日かに分けて使おうと思っていた料理の具が全部使われていた(福山市・40歳)
- ◆あとでリメイクして使うつもり食材を捨てられていた(箕面市・44歳)

②洗い物・・・とにかく雑。水出しっぱなし、床びしょびしょ

- ◆油でギトギトのものをそのまま洗い桶に入れて、他のものと一緒に洗い、他の食器もベトベト。。。 (川崎市・44歳)
- ◆洗い物が雑でお茶碗を割られた(大田区・36歳)
- ◆食器洗いをお願いして、周りがびしょびしょに(千葉市・33歳)

◆普段しない夫に家事をしてもらうには、頼みたい理由や分担を強調し、はっきり伝える

「夫に家事をしてもらうためのお願いをしたことはありますか？」という質問には、66.1%が「はい」と回答。「共働きなのでお願いするという発想がよくわからない」(大阪市48歳)という声もありましたが、この調査では少数派。

こう頼んだらスムーズに手伝ってくれた“一言”をFAで聞いたところ、多数の声が集まりました。総合すると、コツの第一は、なぜ頼みたいのか、なにを頼みたいのかを「きちんと伝える」こと。さらに、ほめる、下手に出る、自分の具合の悪さを強調する、などのテクニックも効果的。

なかなか手伝わない夫を家事に参加させる・・・それは妻のコミュニケーション力の見せどころ、ともいえそうです。

③洗濯・・・ノウハウを知らずに失敗！少しは考えて～

- ◆半端ない量を一度に洗濯機に入れる。洗剤の量が多い(岡山市・47歳)
- ◆洗濯ものをくしゃくしゃのまま干して固まった(羽曳野市・42歳)
- ◆子どものオムツも一緒に洗濯機で洗ってしまい、洗濯物も洗濯槽もポリマーだらけになって大変(姫路市・32歳)

④掃除・・・たまにやるからって、こだわりすぎ？

- ◆こまかいところに目がいくようで小言をたくさん言われた(岐阜市・38歳)
- ◆やりだすと徹底的にやりたがる為、掃除用品を買いまくる(宝塚市・36歳)
- ◆掃除機をお願いしただけなのに、いろんな場所がきになつらしく、テレビの裏まで掃除をしだしたとき。トータルの掃除時間がかかりすぎ(静岡市・34歳)
- ◆お風呂掃除を頼んだら、洗剤が1本なくなっていた(東大阪市・42歳)

夫が家事を手伝った、妻の一言

- ◆今日は休日出勤だから庭掃除とお風呂掃除をお願い！と頼んだらしてくれました(倉敷市・46歳)
- ◆自分では手が届かない、力がある、腰痛があつてできないと理由を言ってお願ひする(西宮市・49歳)
- ◆実家に行くから、ご飯のよういしといてくれへん？(神戸市・30歳)
- ◆～やってくれたら助かる！と素直にいう(仙台市・33歳)
- ◆お父さんが頼りよー！助かります！！(赤磐市・64歳)
- ◆夫が好きな料理を作るときに、「あなたの方が美味しく作れそうだとおもうから」と言ってみました(横浜市・44歳)
- ◆「やらされている感」を嫌がるので、下手に出て「時間がないからやってもらえるととても助かる」とお願ひする(八王子市・43歳)

◆「主婦休みの日」とは？

1月25日、5月25日、9月25日を「主婦休みの日」として2009年4月に日本記念日協会に申請し、登録されました。家事を主に担当する「主婦」が、気兼ねなく家事を休む日。年末年始・ゴールデンウィーク・夏休みの直後の給料日に！という主婦の声で決まりました。

弊社ホームページ「リビングWeb」では主婦休みに関する特集ページを展開しています。

<http://mrs.living.jp/shufuyasumi/>

<本件に関するお問い合わせ先>
サンケイリビング新聞社 リビング編集部:滑川まで

E-mail: cc@sankeiliving.co.jp

twitter@Living_henshubu

〒102-8515 東京都千代田区紀尾井町3-23 TEL:03-5216-9161 FAX:03-5216-9260